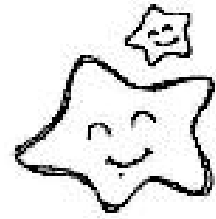


QSK にぬふあぶし

No.274

ね
子の方向の星



～日本病院・地域精神医学会 市民公開講座～

日本の精神科医療の現状や今後について考える第62回日本病院・地域精神医学会総会沖縄大会の市民公開講座が12日、那覇市の県男女共同参画センターで開かれ、沖縄の「私宅監置」の歴史報告などが行われました。私宅監置の取材をしてきた山城紀子さんは、沖縄のたどった歴史背景と地域精神保健への挑戦を報告、北部自立生活センター希輝々の当事者スタッフ高原里緒さんは精神科への入退院を繰り返した自身の経験談を紹介し、ヤンバル出身の瑞慶山良光さんは、沖縄戦の心的外傷後ストレス性障害(PTSD)によって異母兄に3日間ほど監置された経験を証言されました。また、フリーディレクターの原義和さんのドキュメンタリー作品の上映も行われました。

＝2019年10月12日 沖縄県男女共同参画センターでいるる＝

精神障がい者と共生論議

沖縄「私宅監置」の歴史報告



私宅監置をテーマに報告する(左から)山城紀子さん、高原里緒さん、瑞慶山良光さん＝12日、那覇市・県男女共同参画センターでいるる

今年の大会で、沖縄連は、病・地学会から「浜田賞」を受賞しました。

私宅監置を社会的に訴え、精神医療の変革に向けた取り組みが大きな表彰理由でした。

精神医学会市民公開講座

日本の精神科医療の現状や今後について考える第62回日本病院・地域精神医学会総会沖縄大会の市民公開講座が12日、那覇市の県男女共同参画センターで開かれました。かつて精神障がい者が自宅の一角や敷地内の小屋に隔離した「私宅監置」をテーマに報告し、精神科医療の在り方について考えました。私宅監置の取材をしてきたフリーディレクターの山城紀子さんは、戦後の米軍統治や医師不足を背景に、沖縄が本土と比べて私宅監置の禁止が後述した歴史を説明。当事者など

の取材を通して「戦後も社会の中で精神障がい者と共に暮らし、社会を築く」という発想がなかったと気づいた。(当事者に対し)体調に合わせて休みを取れるといった社会の中に柔らかな価値観があれば仕事も続けられる」と訴えた。

北部自立生活センター希輝々の障がい当事者スタッフ高原里緒さんは、中学3年生の頃に発達障がいと診断され、2次障がいとして精神障がいを発病。入退院を繰り返す中で、保護室に3カ月間入られた経験を紹介した。

「トイレがない部屋で数日間は歯磨きすらできなかった。社会からシャットアウトされる不安や怖さがあった」と振り返り、「これで当事者の権利は本当に守られるのだろうか」と疑問を呈した。

その上で、入院の必要性を吟味することが大切とし「休暇や福祉サービスを使うなど環境を整えることで入院を減らすことはできるのではないか」と話した。

このほか、沖縄戦の心的外傷後ストレス障害(PTSD)によって異母兄に3日間ほど監置された経験のある大宜味村出身の瑞慶山良光さんが証言。フリーディレクターの原義和さんのドキュメンタリー作品の上映もあつた。

精神保健福祉普及月間 / 令和元年11月1日(金)~30日(土)

第50回精神保健福祉普及大会

ひきこもりと現代

特別講演 午後1時50分~午後3時20分

●記念講演

演題 沖縄の精神科医療の歴史と課題

講師 中山 勲 (玉木病院院長 前沖縄県精神保健福祉協会会長)

●基調講演

演題 長期化・年長化したひきこもる人の支援

—ひきこもる人の理解・多様な支援手法・支援のマネジメント—

講師 竹中 哲夫 (日本福祉大学名誉教授)

座長 近藤 毅 (琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座 教授)

公開座談会 午後3時30分~午後5時10分

テーマ ライフステージでの
つまづきを乗り越えて

座長 宮川 治 (沖縄県立総合精神保健福祉センター 所長)

講師 榎本 太郎 (黒木のギャンブルのめり込みに
関する電話相談員)

知名 孝 (沖縄国際大学総合文化学部
人間福祉学科 准教授)

黒田 華 (琉球新報社 編集局社会部 記者)

コメンテーター 竹中 哲夫 (日本福祉大学名誉教授)

大会式典 午後1時~午後1時40分

1. 県知事あいさつ
2. 宜野湾市長あいさつ
3. 精神保健福祉事業功労者表彰

入場無料

2019 11/13(水) 午後1時~5時10分
(受付開始12時30分)

各病院・福祉施設等による作品の展示即売会(ロビーにて)

会場 宜野湾市民会館(大ホール)

主催/沖縄県・(一財)沖縄県精神保健福祉協会 共催/宜野湾市・沖縄県精神科病院協会・日本精神科看護協会沖縄県支部
お問合わせ (一財)沖縄県精神保健福祉協会 ☎098-888-1396

地域精神保健福祉教室「こころの健康講演会」

～精神障がいのある方の暮らしを考える～

を開きます！

那覇市では、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指し、市民に精神保健福祉について、正しい知識をもってもらうことを目的に「こころの健康講演会」を毎年開催しています。今年の内容は映画上映と出演者によるミニ講演を予定しています。

日時	令和元年11月9日(土) 13時30分～16時30分
会場	那覇市保健所 3階 大会議室(那覇市与儀 1-3-26)
募集人数	50名 入場無料
募集対象	那覇市在住、在勤、在学の方
内容	①13時30分～15時00分 映画上映「オキナワへいこう」(監督 大西暢夫) ②15時15分～16時30分 ミニ講演会「精神障がいのある方の暮らしを考える」 講師：小川貞子氏 (NPO法人kokoima 理事長/元浅香山病院看護部長)
申込方法	電話または来所にてお申し込みください。
申込締切	令和元年11月8日(金)

※駐車場は数に限りがございます。公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。

① 映画『オキナワへいこう』



② ミニ講演会「精神障がいのある方の暮らしを考える」

小川 貞子氏 (おがわ さだこ)

NPO法人kokoima 理事長/元浅香山病院看護部長

2012年から長期入院の人たちと共同で
「ここ今ニティー写真展」を3年間取り組む。
現在は大阪府堺市堺区香ヶ丘町にてNPO法人
kokoimaの理事長として活動している。



問合せ・申込先 那覇市地域生活支援センターなんくる
那覇市長田1丁目24番27号 TEL: 098-836-6970

支援センターおきなわだより

焼肉&カレーパーティー

毎年この時期は屋外での BBQ が定番でしたが・・・今年には諸々の事情により予定を変更し、「調理実習番外編！！焼肉&カレーパーティー☆」を10月17日に開催しました。これまでは「食べる」ことがメインでしたが、今回は「作る」ことから皆で楽しく協力して進めていきました。野菜を洗ってカットして・・・カレーは甘口と中辛の2種類を用意。コトコト煮込んでいる間に、皆さんお待ちかねの美味しいお肉を焼き上げていきました。おかわりする人続出、お腹も心も大満足！？なパーティーになりました♪



ウォーキング in 県民の森



どんぐりやまつぼっくりを探しに県民の森へ行って来ました！簡単に見つかるかと思いきや・・・山あり谷ありの登山コースを乗り越えそれでも見付からず。あきらめかけていたその時、草むらに転がっている1個のどんぐりを発見！！皆で大騒ぎしちゃいました。この日の収穫は創作活動にて活用予定です♪



◎編集後記◎

ようやく暑さも和らいで、過ごしやすくなってきた今日この頃。冬が待ち遠しいので、いそいそと衣替えの準備をはじめました。今年も残すところあと2ヶ月ですね。年末に向けて何かと慌ただしくなるとは思いますが、皆さん体調に気を付けてお過ごしくださいね (ま)

編集：公益社団法人
沖縄県精神保健福祉会
会長 山田 圭吾
〒901-1104
沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1
てるしのワークセンター内
電話 098-889-4011 FAX098-888-5655
E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp
発行：九州障害者定期刊行物協会
〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出 2-2-18
電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723
定価：10円 (会費に含まれる)